



飯南町文化協会が主催する新春恒例の「書初め大会」が来島交流センターで開催されました。  
今年も小学生から高齢者まで約20人が参加。参加者は指導者の本間美智子さん（花栗）が書いたお手本と見比べながら、真剣な表情で筆を走らせます。  
参加者からは「今年も参加して、一年のスタートを切ることができました。充実した一年にしたいです」との声が聞かれました。

**筆に想いをこめて  
書初め大会**



1.6  
土

本間先生の指導を受け、満足できる作品ができました

来島交流センターで来島公民館主催の「きじま里山講座そば打ち体験」が開催されました。  
当日は、子ども大人合わせて、8家族11人が参加。講師を務めた飯南町出身の中村令さんが、手順や注意点を交えながら打ち方の見本を示された後、参加者はグループごとに協力しながらそば打ちをしました。  
体験後には、自分たちで打ったそばを茹でて早速試食。「お店のようにはいかないが、美味しい」との声が聞かれました。

**年越しそばの練習に  
きじま里山講座そば打ち体験**



12.16  
土

初めてのそば打ちに子どもたちも真剣な表情



**ANAの特別塗装機で配布  
町内の絵本作家  
かげやままきさんの絵本が採用**

国内航空会社の一つANAの運航する特別塗装機で、お子さま連れの利用者に配布されるおもちゃの選択肢に、町内の絵本作家かげやままきさんのオリジナル絵本「とっておいのせかい」が採用されました。  
絵本は、ANAの地域創生への貢献や環境に配慮した取組をテーマに制作。SDGs（持続可能な開発目標）に取り組みANAグループが、環境活動をテーマとして10月から運航を開始した特別塗装機内で、



中央図書館ではかげやまさんのコーナーが設置されています

配布されます。  
景山さんは「SDGsや環境というテーマが大きいこともあり、ストーリーに悩みましたが、これまで描いてきた草花のイメージを活かせることをうれしく思いました。ストーリーの中で「見方が変わる瞬間」を意識しています。飯南町立中央図書館に寄贈したので、町内の子どもたちにも読んで楽しんでいただきたいです」と話していました。



絵本を手に(かげやままきさん)



勢いよく一斉にスタート(頓原)

新年を迎える恒例イベント、公民館主催の「元旦マラソン」が、頓原、志々両地区で開催されました。  
頓原地区には約70人、志々地区には約50人が参加。小雨が降り、寒い中ではありましたが、元旦の連日地を、新年のあいさつを交わしながら駆け抜けました。  
頓原地区では、マラソン後に新春トランプ大会も開催され、町民だけでなく、帰省中の親子連れなど多くの参加者が盛り上がりました。

**辰年の走り初め  
元旦マラソン**



スタート前に全員で記念撮影(志々)



マラソンだけでなくトランプも真剣勝負(頓原)

1.1  
月祝

**運動の大切さ・指導者の役割を学ぶ  
アクティブチャイルドプログラム講習会**

来島交流センターで、(公財)島根県スポーツ協会と島根県スポーツ少年団が主催する「アクティブチャイルドプログラム講習会」が開催されました。  
講習会には、町内のスポーツ少年団の指導者など約20人が参加。子どもが発達段階に応じて、身につけることが望ましい動きを習得するためのプログラムを活用した、指導方法や身体を動かす重要性などの講義を受講しました。  
参加者は「スポーツ少年団での指導に活かしたい」と話していました。



講師は全国各地で講演されている吉田繁敬氏

12.15  
金

**人権作文コンテスト島根県大会  
丸山湖々菜さんが入賞**

松江地方事務局と島根県人権擁護委員連合会が主催する「第42回全国中学生人権作文コンテスト島根県大会」で、丸山湖々菜さん(頓原中1年)の作品「どちらの「らしさ」？」が入賞(佳作)しました。  
作品はスカートとズボンを選択できる制服が増えてきている現状から、「男性らしさ」「女性らしさ」そして「自分らしさ」を考える内容。日常生活の中で得た体験に基づき、人権尊重の大切さや基本的な人権の重要性を理解していることが評価されました。



丸山さん(写真中央)は「『らしさ』という思い込みをなくしていきたい」と話していました

12.7  
木